

パルスオキシメーター

最近テレビで、「新型コロナで自宅療養中の方にパルスオキシメーターを貸し出します」というニュースが放映されています。2020年8月の「やまびこ」で”私の救急キット”の中で紹介したパルスオキシメーターです。

パルスオキシメーターは、血中酸素飽和度(SpO₂)と脈拍数(PR)を測る医療機器です。血中酸素飽和度とは、心臓から全身に運ばれる血液(動脈血)の中を流れている赤血球に含まれるヘモグロビンに何%の酸素が結合しているかを表しています。

パルスオキシメーターは、新型コロナウイルスの**感染者の肺炎の早期発見**に有効なツールとして人気があります。

京都大学の山中伸弥教授は次のように言っています。

「山中伸弥による新型コロナウイルス情報発信HPより引用」

新型コロナウイルスに感染しても、多くの場合は症状が出ないようです。症状が出る場合も大半の人では咳や発熱などの軽症で終わります。そのため、**多くの人は新型コロナウイルスに感染しても気づきません**。(途中、省略) **肺炎が急速に悪化**し、多くの場合、人工呼吸が必要となります。(以下、省略)

パルスオキシメーターは指に挟めて使用し、重さはわずか50g位の小さなものです。血中酸素飽和度の目安は、一般的には次のように言われています。

- ・ 95%以上；正常(96~98%)
 - ・ 95%未満；呼吸不全の疑い有り
 - ・ 90%未満；急性呼吸不全
 - ・ 70%未満；肺機能ゼロ(死亡)
- (90%で酸素摂取量は約40%になります)



パルスオキシメーター (MD300CN350)

私は、登山において高山病のチェックに使う目的で買いました。株式会社ちやいなびの”MD300CN350”を持っています。価格は、1万円以下(7~8千円)であります。ただし、医療機器のため近所の薬局には売っていません。医療機器販売業者から購入しなければなりません。ネット通販や家電量販店で気軽に買うことができます。

ところで、コロナ肺炎ではウイルス感染によって血中酸素飽和度が下がったにも関わらず、”**息が苦しい**”と訴えない事があるそうです。その為、発見が遅れるそうです。

したがって、微熱があっても**おかしいな~**と思った時は、パルスオキシメーターで心肺機能(脈拍数・血中酸素飽和度)をチェックしましょう。

血中酸素飽和度が93%以下(酸素摂取量は約46%)の場合は要注意です。当然、脈拍数もグーッと上がっていると思います。